

2024年11月号：社長出身大学 日本大学が14年連続トップ

【2024年11月号の内容】

- 1) 社長出身大学 日本大学が14年連続トップ
- 2) 10月末1ドル=151.97円 「円安」関連倒産は5件
- 3) メイン先の「増収増益・企業率」がトップの京葉銀行、域内で存在感
- 4) 苦境続く書店経営 大手と地域密着で格差
- 5) 「会社が許せば副業したい」20代の8割超 収入増への希望強く
- 6) 「儲からない、撤退したい」な食堂車に“復活”の兆し

～ 「FC大阪」様が開催予定のホームゲームを無料でご招待 ～
当グループは地元大阪のサッカーチーム「FC大阪」様を応援しています。

【11月9日 vs Y.S.C.C.横浜

会場：花園ラグビー場第1グラウンド

<https://forms.gle/VzFTWhbmV6fgA9z76>

【11月15日 vs SC相模原

会場：花園ラグビー場第1グラウンド

<https://forms.gle/ktml7YPvkRd2p9kw6>

【1】社長出身大学 日本大学が14年連続トップ

中堅私大や地元の国公立大がジワリと上昇

.....

2024年「全国社長の出身大学」調査

2024年の社長の出身大学は、日本大学が1万9,974人で14年連続トップを守ったが、調査を開始以来、初めて2万人を下回った。

2位は慶応義塾大学、3位は早稲田大学で、上位10位まで変動はなかった。

■詳しくはこちら

https://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1199016_1527.html

※外部サイトとなります。

【2】10月末1ドル=151.97円 「円安」関連倒産は5件

2024年10月 「円安」関連倒産（10月31日現在）

円高に転じていたドル・円相場は、2カ月ぶりに1ドル=150円超の円安に振れ、円相場は乱高下を繰り返している。

2024年10月の「円安」関連倒産は5件発生し、4カ月ぶりに前年同月を下回った。ただ、1-10月は累計66件に達し、前年同期の1.4倍に増加している。

■詳しくはこちら

https://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1199029_1527.html

※外部サイトとなります。

【3】メイン先の「増収増益・企業率」がトップの京葉銀行、域内で存在感

「2024年企業のメインバンク調査」で京葉銀行をメインとする企業のうち、前期比で増収増益率となった企業の割合は39.1%となり、全金融機関でトップだった。

千葉県内のメインバンクシェアは、千葉銀行に次ぐ2位だ。

7年連続で社数とシェア率を高めており、存在感を増している。

■詳しくはこちら

https://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1199014_1527.html

※外部サイトとなります。

【4】苦境続く書店経営 大手と地域密着で格差

書店全体は3年連続赤字、増収は4社に1社

～ 全国261社「書店」業績動向調査 ～

「活字離れ」が言われて久しい。本屋さんの倒産、廃業が高止まりし、業績確保に苦慮している。

全国の主な書店261社の2023年度の売上高合計は6,385億1,000万円で、利益合計は17億9,800万円の赤字と3期連続で赤字だったことがわかった。

■詳しくはこちら

https://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1199011_1527.html

※外部サイトとなります。

【5】「会社が許せば副業したい」20代の8割超 収入増への希望強く

.....

20代の8割以上が、勤務する会社で認められていれば「副業したい」と考えている——就活情報サイトを運営する学情（東京都中央区）が、そんな調査結果を発表した。

リモートワークやフレックスタイム制といった自由度の高い働き方が広がる中「副業」や「兼業」を今の20代はどう捉えているのか。

■詳しくはこちら

<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2410/31/news108.html>

※外部サイトとなります。

【6】「儲からない、撤退したい」な食堂車に“復活”の兆し
なぜ廃れ、なぜいま再注目されるのか

.....

鉄道車両の中に調理設備を設け、料理を提供する食堂車。

一時期は全廃も危惧されましたが、現在では豪華列車の目玉として復活傾向にあります。

■詳しくはこちら

<https://news.nifty.com/article/item/neta/12203-3519573/>

※外部サイトとなります。

※本メールはEST Groupのサービスをご利用いただいた方にお送りしています。

※今後EST Groupからのご案内が不要の場合、ご連絡ください。

※記載された内容は予告することなく変更される場合があります。

EST Group 株式会社

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2丁目1-14